

**課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
令和5年度 委託業務実績報告書**

プログラム名：学術知共創プログラム

研究テーマ名：「重層的アクターの協調を生み出す気候変動ガバナンスの構築－低炭素水素事業に着目して」

実施機関：国立大学法人東海国立大学機構

1. 業務の実施日程

2. 研究項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体研究会の開催（1G, 2G, 3G, 4G, 5G）				↔								↔
1G（国際政治）拡大会合								↔				
5G（水素技術）拡大会合										↔		
国際シンポジウム「ネット・ゼロに向けたクリーン水素の技術的・社会的課題」開催												↔
気候変動、CC(U)S 技術、低炭素水素技術をめぐる国際会議の動向調査・国家間競争／対立の生じている論点整理の文脈から見た国際会議と主要国の国内政策レビュー（1G, 2G, 3G, 4G, 5G）					←							→
エネルギー産業・低炭素水素事業に関する投資動向・戦略、および、企業とステークホルダーの意識や行動の調査（2G, 4G）						←						→

変動関連訴訟（国内裁判所の事案に加え、国際人権裁判所、国際投資仲裁等国際紛争事案等を含む）につき、当事者、請求の種類、判断の内容、コスト、等の分類項目をGoogle Formのアンケート方式で作成し、リサーチ・アシスタントを雇用して網羅的に整理した。

(2) 3月末までに、1,500件以上の事案につきデータベースを作成した。

⑤ 水素の製造、圧縮、輸送に関する調査

(1) 水素の製造、圧縮、輸送に関する調査

- ・水素の種類：ブルー水素、グリーン水素
- ・水素製造方式：改質法、電解法等
- ・今後の大容量・低コスト：圧縮、輸送技術動向

(2) 上記に関して普及および開発が進んでいる技術及び開発を主導しているキーとなる企業

- ・先端技術及び団体
- ・水素生産量、シェア、コスト状況

(3) 開発の課題

- ・水素製造：生産量、低コスト化等
- ・圧縮/輸送：液化水素の超低温及び断熱化等
- ・安全性、コスト効率の高さ等

【研究成果の発表状況等】（責任機関（研究代表者）のみ記載）

2024.3.15 国際シンポジウム「ネット・ゼロに向けたクリーン水素の技術的・社会的課題」（名古屋大学野依学術祈念交流館・オンライン）

論文

Tomoko ISHIKAWA, 'Counterclaims based on Corporate Climate Change Responsibility: Challenges and Prospects' (2023) Transnational Dispute Management (Maris BV)

研究発表

2024.3.08 Tomoko Ishikawa, 'The 'UNFCCC' Model as a model for the Multilateral Instrument on ISDS Reform' 国連国際商取引法委員会7th intersessional meeting of UNCITRAL Working Group III

2024.1.18 Tomoko Ishikawa, 'Multilateral Legal Frameworks to Address Climate Change: Implementation Challenges and Responses' 国際法協会(ILA)イタリア支部ILA Italy Environmental Transition Series January-March 2024

2023.7.13 Tomoko ISHIKAWA, 'Counterclaims based on Corporate Climate Change Responsibility: Challenges and Prospects' 国連国際商取引法委員会気候変動及び国際貿易法会議（オーストリア・ウィーン）